

東京CS

しんぶん

《第11号》

- 第3回長野農業体験合宿
- 第4回長野農業体験合宿



■第3回 長野農業体験合宿

2005年8月1～2日

■今回も「贅沢な」青空に恵まれました！途中で蛇が脱皮したときの落とし物を発見！ぎょっ・・・！でもよく見ると表情がけっこうカワイイ？■古箆のおちゃんがいつものように熱っぽく今日のスケジュールを話してくれます。「君たちは富士山の山頂まで登れたって言うから、今日は畑まで歩く！」思わぬところで富士登山の功績を褒められ、ちょっとうれしくなる子どもたち。■実際ずいぶん持久力が身につきました。炎天下も難なく前回車で移動した距離を歩き、楽しみにしていた芋掘りです！！腰に気合いが入っています・・・。じゃがいものつるを引っ張って、そのまま芋が付いてくる確率は五分五分。だいたい途中でぶちっと切れてじゃがいもは土の中・・・■「とうもろこしは茹でて食べるもの」というのを常識だと思っていました。古箆さんによると収穫したばかりのとうもろこしは生で食べれるそうです。生でも甘くておいしかったのです。■2日目はステージを「にじの公園」へ移してのフィールドワークです。「男の子は女の子のためにトイレをつくること」古箆さんが子どもたちに与えた課題です。じゃあ女の子は何するの？・・・そんな野暮なことをいう人はいませんでした。■男の子たちは用意された大きなビニールシートを右へ左へと移動しながら、どうしたものか・・・と話合いながら作業をしていました。■収穫したジャガイモやとうもろこしが茹で上がれば、声をかけあって食べに戻ってきたり、すいか割りを楽しんだり、とんぼを追いかけたりと、一体となったみごとな働きっぷりでした。





■第4回 長野農業体験合宿

2005年8月31日～9月2日

■夏休みが明けてすぐの実施となった第4回農業体験。にじの公園へ着いたら、さっそくテント張りです！と、その前に、古旗さんが用意してくださったユニフォームに着替えます。サッカー合宿にしか見えません。■このキャンプのために、長野の方々が事前に木を伐採してくれていました。にじの公園の周辺には処分すべき枯葉がまさに山のようにあります。とにかくわんさか集めてじゃんじゃん燃やしてくれ～！■はじめは火を恐がっていた子ども、枯れ木を燃やす作業を繰り返していきうちに、しだいに火との距離が短くなっていきます。大人も子どもも顔が灰で真っ黒です。■今晚のメニューはカレーライス。「今日は、これまでに火を焚いたことのない人が火を焚くことにしよう！」と提案する子にみんな賛成。おもしろいのは、未経験者だけでは失敗するかもしれないので、経験者もサポーターとして火付け役に加えていること。■子どもたちに負けてられない大人スタッフ。改良をくわえて完成させたキャンプファイヤーの組み木は、優に子どもの背を超えるジャンボサイズ。てっぺんの蓋を閉じて、「これで一晩中燃えるぞ！」と、にじの公園を立ち上げた虹の橋21の小沢会長。■キャンプファイヤーでは、子どもがその場で短時間のうちにこしらえた一発芸（あるある探検隊）や、クイズ、歌、ゲームで、盛り上がりました。中でも印象的だったのが、お尻に光を当てるゲームと、ナハナハゲーム（改良版）。長野のおじちゃんおばちゃんが、このヘンテコゲームに巻き込まれ、一気に子どもに戻ってしまったように見えました。子どもってすごい！■キャンプファイヤーのはじめに、虹の橋21の小沢会長が、子どもたちへお話しをしました。「ここをもう一つのふるさとだと思って、いつでも遊びに来てほしい。大人になってからも、長野のおじちゃんおばちゃんたちを、生きているかわかんねえけど、訪ねて遊びに来てほしい。」



東京コミュニティスクール Tokyo Community School

〒166-0012東京都杉並区和田3-37-5第5鴨下ビル(1F～4F/屋上)
TEL//03-3313-8717 FAX//03-5305-7234 E-mail//school@tokyocs.org
東京CSしんぶん 編集長//市川力 編集委員//川口誠

 <http://tokyocs.org/>